

(2) 降雨時の情報提供

① 降雨情報の提供

〔目的〕

- お客さまへ降雨情報をリアルタイムで提供し、水防活動や避難行動を支援

〔これまでの取組内容〕

- 下水道維持管理用のレーダー雨量計システム「東京アメッシュ」の提供
平成14年4月から ホームページに掲載（図3-7参照）
平成14年7月から 携帯電話への配信を開始（図3-8参照）

〔降雨情報へのアクセス件数〕

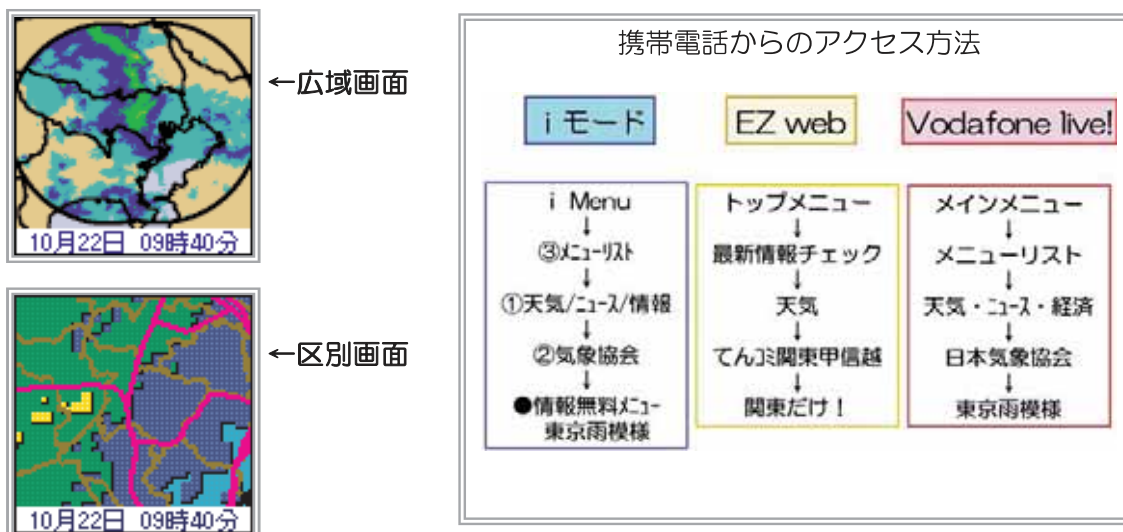
- 平成15年度のアクセス件数
ホームページ：約300万件、携帯電話iモード：約260万件

図3-7 東京アメッシュ（下水道局ホームページ）



- 下水道局ホームページのアドレス
<http://www.gesui.metro.tokyo.jp/>
- 東京アメッシュのアドレス
<http://tokyo-ame.jwa.or.jp/>

図3-8 東京アメッシュ（携帯電話の表示例）



〔これからの取組内容〕

- 近隣州市の降雨情報との連携
- 東京アメッシュの精度向上

② 幹線水位情報の提供

〔目的〕

- 下水道幹線の水位情報を区等へ提供し、水防活動を支援

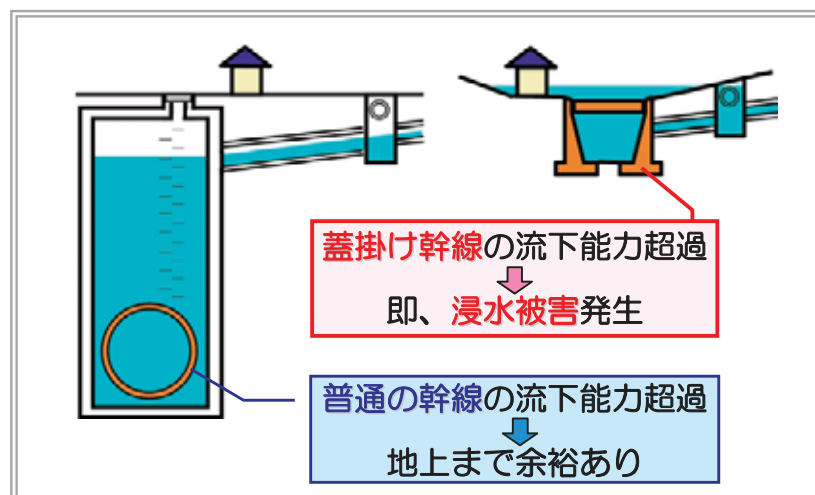
〔取組内容〕

- 河川を下水道化した蓋掛け幹線を対象に、幹線内に水位計を設置して水位を測定し、下水道管理用光ファイバーを活用して区等に情報提供

＜蓋掛け幹線を対象とする理由＞

蓋掛け幹線は、埋設位置が浅く、浸水被害が発生する可能性が高い（図3-9参照）

図3-9 普通の幹線と蓋掛け幹線



〔幹線水位情報の提供経過〕

平成14年6月 品川区（戸越幹線、立会川幹線）（図3-10、11参照）

平成15年4月 中野区（桃園川幹線）

平成16年4月 目黒区（蛇崩川幹線、羅漢寺川幹線）

世田谷区（蛇崩川幹線）

渋谷区（宇田川幹線、千駄ヶ谷幹線）

※ 平成16年7月末現在 5区へ情報提供中

図3-10 立会川幹線及び戸越幹線流域水位監視システムのイメージ

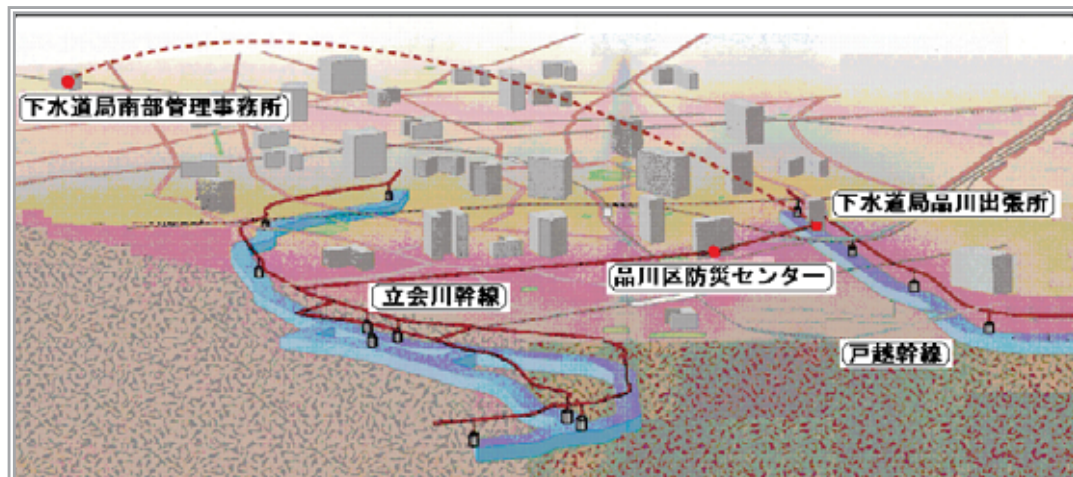
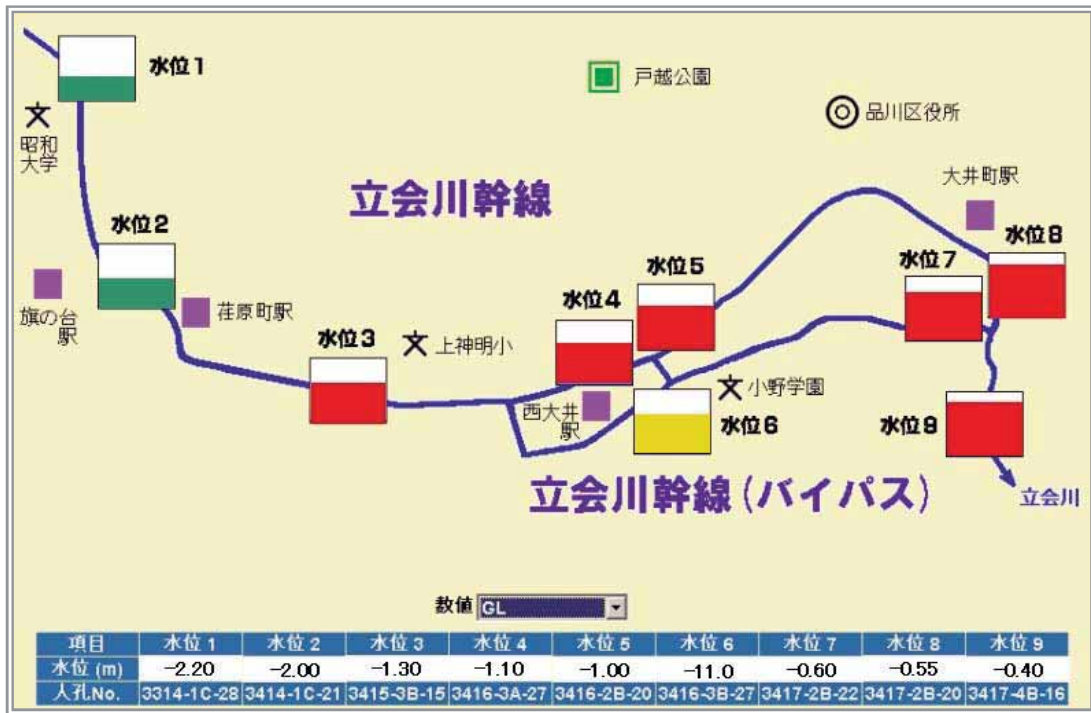


図3-1-1 立会川幹線及び戸越幹線流域水位情報の表示例



〔幹線水位情報の提供による効果〕

- 中野区では、繰り返し浸水被害が発生している地区に、幹線内水位をリアルタイムで表示する水位情報装置を設置し、日頃から地区のお客さまの防災意識の向上に役立っている。(写真3-1 参照)
- 配信先の区では、幹線水位情報を豪雨時の初動体制の判断方法の一つとして活用している。

写真3-1 中野区と連携した幹線水位情報の提供



〔これからの取組内容〕

- 区からの要望を踏まえ地区の追加を検討